

2学期より給食の検査体制がさらに充実 桜小に、放射性物質測定機器が導入され、測定を開始します。

学校だよりNo.6でもお知らせしましたが、桜小学校にも放射性物質の検査機器(ガンマ線スペクトロメーターLB2045)が導入され、2学期の給食から自校での測定を始めます。測定のために専門の職員(測定業務従業者)も配置され、毎日測定をしてもらいます。(写真右-永沢光枝さん写真左-浦井知世子さん)



測定は、給食で使う食材を事前(3~4日前)に一度測定し、方が 10 ベクレル/kg以上のものである場合、給食には使わず、産地替えの同食材、もしくは、代替品を使うようにします。また、当日は子どもたちが食べる1食分まるごと(ご飯やパンなどの主食、牛乳、副食)を子どもが喫食する前までに検査をし、その時点でも 10 ベクレル/kgを超えていれば、食用には供せず、代替品(レトルトカレーなど)を食べるようにします。



子どもたちの内部被ばく防止のため、最大限努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。